



学校だより

令和6年1月30日 上田市立第二中学校 No.11

『「ことば」から学ぶ』

2024年がスタートして1か月が過ぎようとしています。3学期始業式の校長講話では、お正月にあった「能登半島地震」や「羽田空港の飛行機事故」にふれて、お話がありました。さらに、全校生徒に向けて、次のような校長先生からのエールが伝えられました。

「登竜門」

中国にある黄河。黄河の上流は、かなり激しい急流です。その急流の部分を「竜門」と呼びます。

「昔々、この急流の竜門に登ろうとした鯉がいた。激しい急流に負けずに登った鯉は、たちまちそれはそれは大きな龍となった」という言い伝えをもとに、何かを成し遂げるための試練に登竜門といえます。

私は今年のお正月に真田神社にある登竜門を「二中生が自分に相對する試練に打ち克ち、竜門を登り切ることができるよう」と願いを込めながらくぐってきました。

令和5年度、3学期は47日。最後までがんばって、自分の心の中にある竜門を登ってほしいと願っています。

(3学期始業式 校長講話 一部抜粋)



【生徒作】

1月23日には、来年度入学予定の6年生や保護者の方を対象とした学校説明会がありました。そこでは、校長先生から、次のようなお話がありました

「啐啄同時」

「啐(そつ)」とは、卵の中の雛が「もうすぐ生まれるよ」と内側から殻をつつく音。「啄(たく)」とは、そんな卵の変化に気づいた親鳥が、「ここから出てきなさい」と外側から殻をつつく音。殻を破る者と、それを導く者。そんな両者の「啐」と「啄」が、少しもずれることなくピタリと同時に行われるというのが理想であり、この「啐啄同時」という禅語の示すところです。

もしも親鳥が、雛が十分に成長する前に外から殻を破ってしまったら…。準備が整う前に外界に出てしまった雛は、はたして無事に成長することができるのでしょうか。だからといって、親鳥がいつまでたっても殻をつつくことをしなければ、自分の力で殻を破ることのできないような雛はなかなか外に出られない。

だから理想は、雛と親鳥の殻をつつくタイミングがちょうど同じであること。それが「同時」であることの意味。お子さんのシグナルを、おうちの方と学校とが協力して受け取り、お子さんの成長を支えられるよう、よろしく願いいたします。

(学校説明会 保護者対象校長講話 一部抜粋)

1月の様子も、二中ホームページから抜粋。日々更新されるホームページもご覧ください。

☆1/15「風物詩」

新年の風物詩「書き初め」。教室の廊下に展示されています。

どの作品も力作。思わず、足を止めて見てしまいます。



☆1/17「風の子」

今朝も寒かったです。生徒通用門は凍り、お湯をかけて開きました。今季初です。しかし、「子どもは風の子」です。休み時間、外で元気に遊ぶ生徒の姿がありました。



☆1/18「新」

2年生が運営する生徒会委員会がありました。年末から今日まで、この日のために計画を立てて準備してきた新生徒会役員のみなさん。いよいよ始まった新生徒会。これからの楽しみです。



連絡

令和6年度の新たな取組の1つとして「クラス替え」を導入いたします。23日行われた学校説明会で、令和6年度入学生および保護者の皆様にはお伝えしました。クラス替えは2年生進級時に行います。

なお、現1年生、2年生については従来通り、クラス替えはありません。



< 今後の予定 >

- 2月 1日(木) 前期選抜
- 5日(月) 授業参観日⑤
- 6日(火) 給食費引落日
- 8日(木) 3学期期末テスト① 3年総合テスト
- 9日(金) 3学期期末テスト② 前期選抜発表
- 15日(木) 地区生徒会、生徒会委員会、学年費引落日
- 20日(火) 後期選抜志願受付(～22日)
- 26日(月) 後期選抜志願変更受付(～29日正午)
- 28日(水) 薬師寺 松久保先生ご講話(2学年)
- 29日(木) 生徒集会、委員会



↑二中ホームページ
ご覧ください

☆今年度のSC来校日(相談希望は担任または教頭まで)

◇2月15日(木) ◇2月29日(木) ◇3月7日(木)

【文責：教頭 高寺 威】